

杉山寧 日本画家。肺結核で永く制作を中断、敗戦直後に発表した「エウロペ」が画壇に衝撃、戦後の幕を明けた。

すぎやまやすし

伊藤博文暗殺 1909 = 東京市浅草区西三筋町で、長男に生まれる。

明治天皇没 1912 = 3歳 :

本格政党内閣 1918 = 9歳 :

原敬首相暗殺 1921 = 12歳 :

金融恐慌 1927 = 18歳 :

共産党事件 1928 = 19歳 : 東京美術学校日本画科に入学、新興やまと絵教授松岡映丘教室に学ぶ。

満州事変 1931 = 22歳 : *帝国美術院第12回美術展覧会で「水辺」が初入選、

五一五事件 1932 = 23歳 : 第13回帝展で「磯」が特選、

国際連盟脱退 1933 = 24歳 : 卒業制作「野」、

帝人疑獄事件 1934 = 25歳 : *第15回帝展で「海女」が再び特選となって、一躍画壇から注目される。映丘門下有志で瑠夷画社を結成、新進気鋭の日本画家の参集で名声高まるが、肺結核に冒され療養生活に入り、以後永らく制作は中断。

二二六事件 1936 = 27歳 :

日中戦争始 1937 = 28歳 :

日米開戦 1941 = 32歳 :

敗戦 1945 = 36歳 :

独立回復 1951 = 42歳 : *第7回文部省主催日本美術展覧会に「エウロペ」を出品して本格的に再出発するとともに、その構築的絵画空間の密度と構想の壮大さは当時の画壇に衝撃を与え、戦後日本画の幕あけを告げた。

自衛隊発足 1954 = 45歳 : 以来日展に所属、つぎつぎと大作を発表、審査員をつとめ、

国連加盟 1956 = 47歳 : 雑誌{文芸春秋}の表紙絵制作を開始。第12回日展出品の「孔雀」で日本芸術院賞受賞。

美智子妃 1959 = 50歳 : 第2回新日展出品の「仮像」は抽象描法の面からも傑出した主知的絵画空間に挑み、独自の境地を開き、

安保闘争 1960 = 51歳 :

全国総合計画 1962 = 53歳 : エジプトに取材して、

TV宇宙中継始 1963 = 54歳 :

東京リボルヴ 1964 = 55歳 : 「穹」、

大学紛争始 1965 = 56歳 : 「水」を発表したほか、裸婦像などで、特有の杉山様式を確立。

さらに海外取材としてトルコ・カッパドキア・エトルスク・シシリー・インド北部ラジキスタン地方へと精力的に画幅を広げた。これは単にエキゾチズムに発したものでなく、時間を超越した存在を通し、東洋画の永遠性のある絵画世界を新たに求めた。

また、日展における近代的指針を打ち出し、

大阪万博 1970 = 61歳 : 日本芸術院会員となり、

日中国交回復 1972 = 63歳 :

石油ショック 1973 = 64歳 :

角栄金脈辞任 1974 = 65歳 : 文化勲章を受章、同時に文化功労者となる。

1981 = 72歳 :

中曽根内閣 1982 = 73歳 :

バブル始 1986 = 77歳 : この年まで{文芸春秋}の表紙絵を30余年続け、小品ながら充実した画境を発展させた。

竹下内閣 1987 = 78歳 : 東京国立近代美術館で、代表作を網羅した回顧展{杉山寧展}が開催される。

ドイツ統一 1990 = 81歳 :

バブル崩壊 1992 = 83歳 : *「洗」を最後に、

55年体制終 1993 = 84歳 : 心不全のため病没した。

長女瑞子は作家三島由紀夫の妻。